

令和5年度事業報告書

自 令和5年 4月 1日

至 令和6年 3月31日

令和6年 5月24日

学校法人 金蘭千里学園

1. 法人の概要

単位：名

項目	高等学校	中学校	備考
設置する学校	金蘭千里高等学校	金蘭千里中学校	
入学定員	180	180	
在校生徒数	535	592	令和5年5月1日現在
教職員数	56	58	令和5年5月1日現在

2. 事業の概要

・金蘭千里中学校、高等学校における事業の基本的な概要

事業計画に基づき、以下の項目・内容を基本・原則として、教育事業を展開した。

なお、事業計画時の概要において実施を予定した項目のうち、新型コロナウイルス感染症の流行により実施内容を変更したもの、実施を見送ったものなどについて、次項に記載した。

男女共学 1学級30人

学習指導

○カリキュラム

併設型中高一貫校としてのカリキュラムによる効果的、効率的学習

英語・数学・国語は、基礎科目として時間増

理科・社会は、広範な科目を履修することによる幅広い進路選択への対応

○20分テスト

通常授業を重視し、月～金曜日に成績評定を決する復習テストを実施し、成績状況を授業や個別指導にフィードバックすることによる学力の向上、定着

○特別授業

学力の補足、練成のための、夏季・冬季・春季長期休業期間における特別授業の実施

生活指導

担任を中心とした個人指導の徹底

スポーツ

○校技

男子はサッカー、女子はバレーボールを校技と定め、6年間を通じた指導により全生徒が共通のスポーツとして習得

○他種目

校技に加え、学年によってテニス、バスケットボール、卓球、ハンドボール、バトミントン、男子バレーボール、女子サッカーを選択履修

国際理解／キャリア教育

○「日常」と「異文化」の相対化と「体験」による「知識」の裏付けによる「弾力的国際人」を育成するためのカリキュラム

○中高6年間の発達段階と生徒の個性と能力に応じた進路指導のため、外部講師による講演や職業体験などを通じた、単なる大学進学指導に止まらない幅広い進路指導

・ネイティブ・スピーカーである教員による英語指導

・外務省や国際機関、外国公館を通じ派遣された専門家による、国際事情の理解を深めるための講演

・民族学博物館の見学による異文化理解

・イギリス海外研修（イートン校）＜希望者のみ＞

・能楽、狂言、茶事、落語といった日本の伝統文化体験

・本校卒業生による進路決定に至る体験の講演

・職業選択に至るプロセスに関する講義や、医療従事者、起業家等の専門家を招いた講演

野外活動

○キャンプ・自然研修

各学年キャンプ又は自然研修旅行の実施による自然体験

○徒歩訓練

北摂の自然に触れるオリエンテーリング形式の行事の実施

□情操教育

○音楽鑑賞

国内外の一流のアーティストによる演奏鑑賞の実施

○合唱祭

中学生・高校一年生が運営企画するクラス対抗のコンクールの実施

□情報教育

整備されたICT環境を活用し、eメール、インターネット等の基礎技術の修得や各教科学習の補助に資するにとどまらず、情報化社会に対応する情報処理モラルの涵養

□自主性の涵養

○クラブ活動の充実を図ることにより生徒の多様性に対応するとともに、生徒に多面的な負荷をかけることにより「勉強を頑張りクラブ活動も頑張る」スタイルを確立させ、多彩な活動ができる人材を育成

○文化祭、体育祭の運営を通じ独創性と自発性の涵養

・新型コロナウイルス感染症流行に関する対応、対策及び、事業の変更等

□感染症対策及び教育活動継続に向けた学校運営の概要

- ・令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症となったことに伴い、感染症対策については、ほぼ新型コロナウイルス流行前の通常の対応とした。
- ・行事については、通常通り実施することを原則としつつも、新型コロナウイルス感染症のみならず、インフルエンザの流行状況なども考慮し、主に会食を伴う行事の見送りなど、一部の行事の実施内容を変更した。

□事業計画において予定していた行事の実施状況など

- ・キャンプ行事は、施設の受入れ人数制限や、マスク着用下での飯盒炊爨やテント泊が困難であるなどの理由により、宿泊施設泊とする、1学年を1泊2日の2班編成にする等実施内容を精査の上、中学1・2年及び高校1・3年で実施した。
- ・自然研修行事は、高校2年の北海道自然研修及び中学3年の信州自然研修は、予定通り実施した。従って、全学年で予定していた宿泊行事を実施するに至った。
- ・入学式、卒業式後の祝賀会は、実施を見送った。
- ・なお徒歩訓練は、感染症対策とは別に、北摂地域での熊の出没情報により、実施を見送った。

・当年度における主な事業計画

□現校舎施設設備の整備、更新

○現校舎で更新の時期を迎えている老朽化設備の更新を今年度も引き続き行う。校舎外壁修繕、視聴覚教室の音響、映像機器の更新、校舎空調のうち未更新で残る電気系統空調の更新工事を予定している。

・当該計画の進捗状況

□現校舎等施設設備の整備、更新

・校舎外壁修繕工事を令和5年4月から9月にかけて実施した。また視聴覚教室の音響、映像更新工事を令和5年4月に実施し、使用に供している。なお校舎空調の一部電気系統空調の更新工事は、校舎外壁工事との関連で工期の確保ができず、令和6年度の実施を予定している。

以上